

放送日 令和元年9月2日（月）

担当者 行政管理課 矢島 和樹

おはようございます。総務部行政管理課の矢島和樹です。

9月に入り、入庁してから5ヶ月が経過しました。時間の過ぎる速さに驚くと共に、経過した時間に伴った成長をしているか不安に思う日々を送っています。

今回スピーチをすることになり、ちょうど去年の今頃、面接試験を受けるため、市役所に来た際にスピーチを聴いたことを思い出しました。結びの言葉の部分聞き、みんなで一致団結してがんばろう、という一体感やあたたかさを感じ、非常に良い印象であったことを覚えています。あれから一年がたった今こうしてスピーチをしていることを非常に感慨深く思います。

話は大きく変わりますが、今回私が携わっている業務のひとつである公文書管理についてお話します。当然のことですが、公文書は指定した保存満期を迎えるまで公文書として存在し続けます。遠足は帰るまでが遠足だよ、と幼いころから教育を受けてきたと思いますが、公文書は廃棄されるまでが公文書です。紛失したといったような問題が発生したら一大事ですので、作成から廃棄にいたるまで適切な管理が必要となります。保存や廃棄に関して申し上げますと、今年度より現物と共にシステム内での処理を行うようになりました。管理におけるシステムの導入により、管理精度の向上や保存文書の検索の利便性の向上といった利点が多く生まれています。システム上の慣れない事務作業も多いとは思いますが、今後とも公文書の管理の徹底にご協力お願いいたします。

仕事にもすこしずつ慣れてきた今、今一度気を引き締めて業務を行いたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月3日（火）

担当者 税務課 畑 洋匡

おはようございます。総務部税務課の畑 洋匡です。

私は本年4月に、5年間の社会人経験を経て当市に入庁致しました。入庁から早5カ月が経過し、周囲の上司や先輩にも恵まれ、ようやく仕事に慣れてきたところです。

私は現在、税務課で納税を担当しています。税務課には様々なセクションがありますが、納税担当は諸事情により納期限までの税金納付が難しい方の納税相談や、期限内に納付できなかった方に対して文書催告を行い、それでも連絡や納付がない方については財産差押等の強制処分を行う、といった特殊な仕事です。

また取り扱うものは税金に限らず、介護保険料や後期高齢者医療保険料、保育料の滞納整理も行っています。今後は当市の債権一元化を進める上で、市営住宅使用料や学校給食費、学童保育料の滞納整理業務も加わる見通しです。

取り扱う税金や料金が多様化する中で、それに対応した法令を学ぶ必要がありますが、まだまだ半人前の私は日々周りに助けていただきながら仕事をさせていただいています。

納税の仕事は皆様もご想像の通り、税金を滞納している市民と厳しい折衝を強いられる場面があります。時には罵詈雑言を浴びることもあります。しかし、適切な行政運営をする上で公平な税金徴収は必要不可欠であり、それを常に念頭に置きながら、日々の業務に取り組んでいきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月4日(水)

担当者 税務課 西村 雅人

おはようございます。税務課の西村雅人です。4月に北広島市役所に入庁し、もうすぐ半年が経ちます。もう半年も経つのかという驚きと、自分はその分成長できているのかという不安の両方があります。突然ですが、私は小学生の頃、税金の標語コンクールというものに参加し、優秀賞をいただいた覚えがあります。「税金はみんなを支える力持ち」。当時は賞品の図書カードのためになんとなく参加しただけでしたが、あれから10年経ち、税務課で仕事をしている今、この言葉は小学生ながらになかなか核心をついていたなと思います。私の係は、主に税金の収納業務と軽自動車税、法人市民税などの諸税を担当しています。仕事内容が多岐に渡るため、覚えることも多く、まだまだ勉強の毎日ですが、係の先輩職員の方々を初め、税務課、市役所全体の職員の方々の温かいサポートのおかげで日々の業務を行うことができます。私も早く皆さんのような職員になりたいと思います。

さて、話は変わりますが、私は昨年、入庁前にきたひろしま市民会議というものに参加させていただきました。

市民中から無作為に選ばれた30名で、北広島の現状について議論を行うというもので、大学生だった私は、参加のお礼に図書カードがもらえるということを知り、あまり深く考えずに参加しましたが、後に職員となる私にとって、一市民の立場で、地域の方々と北広島の課題と将来について語り合うという機会は、大変貴重なものとなり、議論が進む中で、自分の中にこんなにも北広島への思いがあるのかと気づかされました。このような市民の方々の声を行政に反映させていくことが、今後、北広島市役所職員として働いていく私の使命であると感じた瞬間でもありました。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月5日(木)

担当者 税務課 石川 成美

おはようございます。総務部税務課の石川成美です。

北広島市に入庁してから5か月が経ちました。税務課では、今まで聞いたことのないような専門的な用語や税金に関する制度・法律などの知識が必要となり、日々勉強の毎日です。

私は税務課の中でも固定資産税の家屋・償却資産の担当をしています。主な業務の一つとして、市内に新築された家屋に現地調査に行き、調査結果をもとに家屋を評価するという業務があります。市民の方に納得して税金を納めていただくためには、この調査や評価を正確に行い、適正で公平な課税をする必要があります。また、評価や課税に対する説明責任をしっかりと果たさなければなりません。税金を課税している立場でありながら、市民の方からの質問や問い合わせに曖昧な対応しかできなければ、課税に納得していただくことはできないと思います。市民の方の問い合わせに正確に答え、わかりやすく説明するためにも、まずは自分が固定資産税に関する知識を増やし理解を深めていくことが必要だと思うので、日々勉強を重ねていきたいと思えます。

また、市民の方にとっては、ベテランの職員も新任職員も同じ“市役所の人”であり、新任職員であるからといって間違った対応をしてしまえば、信頼を損ねてしまうことになりかねません。自分一人の対応が良い意味でも悪い意味でも市役所全体の印象に影響するということを忘れず、新任職員ではありますが職員の一員としての自覚を持って業務に励みたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月6日(金)

担当者 市民課 福士 颯太

おはようございます。市民課環境部市民戸籍住民担当の福士颯太です。

今年の4月に北広島市役所に入庁し、約5か月が経ちました。しかし、5か月間という日々はあっという間に過ぎていき、その期間にあった成長ができていくか心配です。毎日新しく学ぶことがあり、業務を1つずつ精一杯行っているような状態ですが、戸惑うことがあるたびに先輩や周りの方々に優しく教えていただき、助けられています。

今日は、私の理想とする職員像についてお話しさせていただきます。私が目指す職員像は、市民から信頼され、市民の心に寄り添う職員です。市民課では、戸籍の届け出を出す方の対応や電話など、多くの市民の方々と関わる機会が多々あります。しかし、私は戸籍や住民票に関する知識が全くありませんでした。そのため、市民の方々の電話での質問に対し、確認のため保留して回答まで時間がかかってしまったり、時には折り返しの電話になってしまうことがありました。しかし、市民の方々にとっては、対応する市役所の職員は担当する知識をすべて持っていることが当たり前です。自分の知識不足で市民の方々が困っていることに対して、どのようなことができるのか実際に把握できていないことに対して、自分自身がとてもふがいないという思いに駆られます。そのため、市民の方々が望むことを実現できるよう、一刻も早く多くの知識をインプットしていきたいと思います。

また、実際に窓口や電話等で市民の方々と接する際には、相手の思いをくみ取ることができ、常に相手を最優先に考え真摯な対応ができる職員になれるよう日々努力を重ねていきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月9日(月)

担当者 福祉課 五十嵐 勇貴

おはようございます。保健福祉部福祉課生活保護担当の五十嵐勇貴です。

入庁し最初のスピーチなので、簡単に自己紹介をさせていただきます。生まれ育ちは札幌市豊平区、趣味として合気道の稽古をすることとミュージシャンのB'zのライブに行くことをこよなく愛しています。私は前職として4年間金融関係の企業に勤務してました。そこで様々な知識と経験、そして昨年結婚した妻を手に入れたのち、4月に北広島市役所に入庁致しました。勉強と業務により繁忙ながらも充実した日々を過ごしていることもあり、あと1か月も経たないうちに入庁して半年も経過していることに驚きを隠せない今日この頃です。

私は生活保護担当、すなわちケースワーカーとして勤務していますが、このケースワーカーという言葉について考えたことをお話ししたいと思います。

ケースワーカーの語源は、生活に困難を抱えたクライアントの個々のケースに合わせて、主体的に生活出来るように支援していく人のことを意味します。所定の日に所定の金額を生活保護費として支給する業務と、昔の私は考えていましたが、それは大きな間違いでした。生活に困っていると一口に言っても、そこに至る過程や事情については人それぞれです。どのようなことが課題になっているのか、どのように支援していくことで自立に繋がられるのかをその人ごとの状況に応じて考えていかなければなりません。そのためには自分自身が様々な知識を身に付け、ありとあらゆる状況に対応出来るようになる必要があります、ケースワーカーたる以上、そこが求められると考えています。

ケースワーカーとして、生活に困っている市民が抱えている様々な課題に向き合っていくために、今後もより一層自己研鑽に励みたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月10日(火)

担当者 健康推進課 山根 千歩

おはようございます。保健福祉部健康推進課の山根千歩です。

4月に北広島市役所に入庁し、約5か月が経ちました。

職場の環境には慣れ始めましたが、まだまだ分からないことや覚えることが日々見
つかり、先輩方に優しく教えていただき感謝しながら業務に取り組んでいます。

今日はこの5か月間で私が感じたことと、目指す職員像についてお話ししたいと思
います。

私が担当している主な業務の一つに、乳幼児健診があります。乳幼児健診で保健師は
問診と保健指導を行います。そこでは、興味を持って話を聞いてくれる方もいれば、
そうでない方もいました。どうしたら興味を持って話を聞いてもらえるのかと思い、
先輩方の保健指導を見ると、一方的に専門的知識を話すのではなく、まずこちらが相
手に興味を持つことが重要だと思いました。相手がどのように考えているのか、どの
ような生活背景があるのかを、会話の中で引き出し、その人に合った知識や選択肢を
提示することでその人の不安や悩みの解消につながります。なので、保健指導は無理
やりこちらの話に興味を持ってもらおうとするのではなく、相手から健康やよりよい
生活に対しての意識を引き出すことが必要なのだと思います。

私はこれから、専門的知識、予防的視点を先輩方からたくさん学び、その人の考えや
生活を尊重しながらもっと健康やに対して興味を持ってもらえるような関わりをし
ていきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月11日(水)

担当者 保険年金課 中川 翔

おはようございます。保健福祉部保険年金課医療給付スタッフの中川翔です。

私はある金融機関で9年間勤務したのち、今年の4月に当市へ入庁いたしました。今日までの5か月間は新しい仕事を覚えるのに精いっぱい、あっという間だったように感じます。上司や先輩方には毎日のようにご指導いただき、本当にありがとうございます。

5か月間過ごしてみて感じた前職との違いは、市役所の取り扱っている業務内容がとても幅広いということです。私のいる保険年金課だけを見ても、子ども医療費助成のほか、重度医療やひとり親医療費助成、後期高齢者医療制度、国民健康保険、年金とたくさんの業務にわかれています。市役所全体で考えると覚えきれないほどたくさんの業務があると思います。

ここで、私がよく前職でお世話になっていた上司に言われていたことがあります。「いろいろなことに興味を持つこと、常に周りへアンテナを張ることが大切だ」ということです。自分が何か仕事をしている時でも、周りの人の会話や周囲で何が起きているかを少し気にするように意識するだけで、いざというときにすぐ反応ができるというものです。

今の私は、まだまだ自分の担当や関連している仕事を覚えるので精いっぱいですが、周りへアンテナを張るよう意識し、他の部署の方の仕事もいろいろ知っていきたいと思います。そして、横の連携のとれる職員になることが私の目標です。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月12日(木)

担当者 稲穂保育園 加藤 友恵

おはようございます。稲穂保育園の加藤友恵です。新任職員として働き始め、5か月が経ちました。保育園で働いていると、嬉しいことやかわいいこと、おもしろいことが毎日起こります。例えば、私がせきをしていると、子どもたちの誰かが背中をさすってくれたり、悲しい顔をした友達がいると、すぐに気付いてなぜ悲しいのか一緒に考えてくれたりします。

ある日のお昼寝時間のことです。暑くなってきて、タオルをかけずにゴロゴロしている子がいました。お腹だけはかけようね、と声をかけましたが反応はなく、くしゃくしゃのタオルは布団の上に置かれたままでした。次は何と声をかけようか考えながら他の子を寝かしつけていると、お昼寝をしないで帰る年長さんが、その子の元に来て座りました。タオルをぱっと広げその子のお腹にかけると一言「暑くない？」と声をかけ、頷く様子を笑顔で見届けると、お腹をさすって寝かしつけてくれました。年長さんの優しく、気持ちに寄り添った関わりに、涙がでる程嬉しかったと同時に、次に考えていた自分の関わりはどのように優しく寄り添ったものだったのだろうか、と自問自答し恥ずかしくなりました。

この優しさはどこからきているのでしょうか。教わってできるものではありません。愛を持って大切に育てられ、優しくされて嬉しかった経験がたくさんあるからではないかと思います。日々働く中で、嬉しかった経験は連鎖するものだと実感します。嬉しかった経験がたくさんできるような保育を目指すと共に、私自身が子どもを取り巻く環境の一つであるという自覚を持ち、様々な経験に寄り添いながら保育していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月13日（金）

担当者 建築課 竹内 美紀

おはようございます。建設部建築課の竹内美紀です。

私は今年の4月に入庁し、9月いっぱい半年になります。前職では木造の住宅メーカーで図面作成や積算業務を行っておりました。現在は建築指導と工事業務に携わっています。今回は私の行っている主な業務について紹介したいと思います。工事業務は公共建築物の新築・改修・修繕の積算や工事監理を設計事務所や施工業者と打ち合わせを重ねながら行っていく業務です。扱う建物は鉄筋コンクリート造が全般であり、前職で扱っていたものとは大きく異なりわからないことばかりです。周りの先輩方の助けをかりながら、見慣れない鉄筋コンクリート造の図面を各種資料と見比べ、勉強の毎日です。

指導業務では確認申請や長期優良住宅、建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律、建設工事に係わる資材の再資源化などに関する法律（通称建設リサイクル法）などを取り扱っています。建設リサイクル法は延床面積 80 m²以上の建物の解体工事、500 m²以上の新築・増築、1 億円以上の修繕・模様替え、500 万円以上の建築物以外の工作物の工事を行う際に届出が義務付けられています。工事をもっている部署の方々には関係の深い法律ではないでしょうか。

このように建築に係わる法律は多岐にわたりお互いに深く関係し合っています。そのため市民の方や建築に携わる業者の方でも全てを把握することは難しく、窓口相談に訪れることや電話での問い合わせがあります。そういった相談にひとつひとつ丁寧、迅速に答えられるよう勉強を重ね、市民の方々のお役に立てるよう努力していきたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月17日(火)
担当者 土木事務所 柿崎 祐人

おはようございます。建設部土木事務所の柿崎祐人です。仕事は主に橋梁や河川の維持管理を担当しており、橋梁の補修設計や工事の監督を行っています。橋梁や道路の社会インフラの整備は住民の皆さんの生活基盤の支えるうえで重要であり、やりがいのある職務だと感じています。市役所独特の仕組みや業務を把握することに苦労していますが、上司や先輩職員の方々の親切なご指導のもと業務に取り組んでいます。今日は私の職員としての心構えをお話ししたいと思います。土木事務所では道路・河川・橋梁・照明などに関する苦情・要望を受けます。その中には市役所として対応できないことがあります。私は市役所としてどこまで対応できるかを市民に自信を持って説明できるようになっていきたいです。法令や役所の仕事をよく理解し、その上でできないことはできないといえるようになり、すべての住民の皆さんに適切かつ公平なサービス提供、対応を心掛けます。そのために必要な技術力を業務以外の時間でも勉強し、自己研鑽に努めていきます。また私の職務は技術系のため、相手は専門知識を持っていないことが多く、分かるように説明できるようになっていきます。専門用語ではなくわかりやすい言葉で工夫した説明を心掛けます。

対応時は市役所の顔、役所の代表である自覚を持ち、応対する職員の言葉使いや態度で市役所全体の印象に関わることを認識し、誠意を持った対応を心掛けていきます。自分の発言が市役所の発言と捉えられるので責任を持った説明を行い、住民や職員の方のみなさんの信頼を得られるような職員を目指します。以上のような心構えを持って、業務に励んでいきたいと思っています。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月18日(水)

担当者 農政課 関崎 璃子

おはようございます。経済部農政課の関崎璃子です。去年の9月20日に合格通知があり、あれから一年が経とうとしています。22年間過ごしてきた地元である旭川市を離れることはとても不安でしたが、同期をはじめ、先輩・上司など周囲の多くの人たちに恵まれて、充実した毎日を送らせていただいています。

本日は、農政課の業務の1つである「農泊」についてお話しさせていただきます。農泊とは、地域で暮らす人たちとの交流や生活体験などを通して、まちの魅力を味わってもらう「農山漁村滞在型旅行」のことを言います。ただ単に農家に泊まり、農業を体験するだけでなく、そのまち独自のコンテンツを体感するというものです。北広島市では、平成30年から農泊事業に取り組み今年で2年目になります。来年度から本格的に商品化するにあたって、市内農業者さんや商工業者さんと一体となり北広島の新たな観光商品づくりに取り組んでいます。先週の木曜日にはドイツ人とハンガリー人2名を招き、モニターツアーを行いました。今回は、稲刈りやとうきびの収穫体験、浴衣の着付け体験などを行い、最後は地元の居酒屋でディナーを楽しんでいただきました。どの体験も満足していただき、私自身も安心しました。

農泊の事業に携わらせていただき感じたことは、何気ない日常生活や普段当たり前だと思っていることも、道外や海外の人にとっては、特別な価値があるということです。当たり前存在するものの価値に気づくことは難しいことですが、視点を変えて見つめ直し、北広島の魅力を多くの人に発信できるよう、今後も努力していきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月19日(木)
担当者 商工業振興課 阿部 悠介

おはようございます。経済部商工業振興課の阿部悠介です。私はこの4月に民間企業経験者の枠で入庁しました。前職では8年間農業団体にて経理業務、砂糖の販売業務を経験しており、北海道の農家さんのために働いておりました。職場が変わり新しい環境で戸惑うこともあります。自分たちの利益ではなく人のために働くという根本の部分は前職と同じであると感じ、日々業務に励んでおります。

今回は私が働くうえで心がけていることについてお話をさせていただきます。私が心がけていることは「疑問を持つ」ということです。業務を行う際、つい何も考えず過去の手順を踏襲してしまいたくなりますが、ルールというのは常々変わっていくものです。当時の環境下で作られた手順が今の環境でも正しいとは言い切れません。何のためにそうするのか、目的を見据えた上でその手順が本当に正しいのかをその都度考えることが大切であると感じます。

私が参考としている問題解決に対するアプローチの手法にトヨタの「なぜなぜ分析」という手法があります。これは1つの問題に対し、何度もなぜを繰り返すことでその問題への対策の効果を検証する手法です。なぜなぜと掘り下げていくと、自分に都合よく考えてしまっていたり、あまり深く分析できていなかったことを思い知らされます。

何も考えずに作業として業務をこなすのではなく、日々疑問を持ち考えながら業務に当たり、本当の意味での「仕事」ができる様努力していきたいと思っております。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月20日(金)

担当者 経営管理課 西谷 和峻

おはようございます。水道部経営管理課の西谷です。

4月に職員として採用になり、もう少しで半年になります。現在私が行っている業務は、毎日口座に入ってくる水道料金を計算することや、水道部内の支払い業務を行っています。

水道の経営は、給水人口の減少による収入の減少と老朽化した水道管などの維持・更新に係る費用の増大により、厳しい状況になることが予想されます。将来赤字の経営が続けば、水道料金を値上げせざるおえなくなってしまうかもしれません。それを防ぐため、コストの削減や新しい取り組みを積極的にやっていく必要があります。

そこで、今回のスピーチを通して職員や市民の皆様にご1つお願いしたいことがあります。それは現在、納付書で水道料金・下水道使用料を支払っている人は、是非口座振替で支払いをしていただきたいということです。納付書はコンビニエンスストアなどで支払うことが可能ですが、1件当たり55円の手数料がかかります。しかし、口座振替は1件当たり10円の手数料で行うことができるため、コストの削減をすることができます。支払方法を変えれば、自動的に口座で引き落としになるため、支払いに行く手間が省けます。また、払い忘れてしまうこともないため、皆様にもメリットはあると思います。とても小さい金額ですが、塵も積もれば山となるという言葉のように、小さなことやできることから取り組んでいきたいと思っています。

このスピーチを聞いて口座振替にしたいと思った人がいれば、市役所4階の水道料金センターや経営管理課まで来ていただきたいと思います。よろしく申し上げます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月24日(火)

担当者 下水道課 木守 達哉

おはようございます。水道部下水道課の木守です。

下水道課では、処理施設を担当しています。主な仕事としては、下水道事業計画の策定と処理場及びポンプ場にある土木、建築、機械、電気など施設の更新計画の策定とその更新事業の実施です。

今回は入庁してから感じたことや、今後の業務で心掛けていきたい事についてお話ししたいと思います。4月に入庁してから9月いっぱいまで約半年が経過します。土木職として専門知識が必要となる中で、業者の方々と打合せに参加させていただく機会があります。その際、分からない専門用語が出てくるとメモをとり、打合せ終了後、部署にある本で調べる、先輩に聞くなどして、ついていくので精一杯で全然知識が足りないと感じました。専門知識の不足に伴い、自信が持てず市民や業者の方々と電話対応や窓口対応等のやりとり、職場の先輩上司の方々に報告、連絡等をする際に、自分の意見がきちんと伝わっているのか不安になることがあります。また、正確に相手の意見等を聞くことができなく何度も聞いてしまうこともあり、コミュニケーションの部分でも課題が浮き彫りとなった半年間だったと感じています。

知識が身につけば、自信を持って市民や業者の方々に正確でスムーズな対応ができると思うので、積極的に色々なことを経験し今のうちに分からないことは、先輩上司に聞いていち早く戦力となれるように努めたいです。

本日から初めて受け持った工事が始まります。期待と不安がありますが、無事に工事が終わるよう努め、市民が安全で安心して暮らせるまちづくりに貢献していきたいです。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月25日(水)

担当者 教育総務課 千葉 祐太

おはようございます。教育部教育総務課の千葉祐太です。

この4月から北広島市役所に入庁しました。

私は大学を卒業後、民間企業に勤務しておりました。担当することになった業務は前職とは全く異なる業務ということもあり、何もかも初めて体験することばかりでした。

現在、入庁して約半年を迎えましたが、職場の諸先輩方に教を請い、勉強の日々を送っています。

私が現在担当している業務は多岐にわたりますが、主に学校に対して支出する補助金の処理や教育現場で使用される教材などの備品購入、また中学生の全道・全国規模大会へ出場する際の出場費助成の受付、交付など、教育関連の事務処理を行っています。

業務を通して学校の先生方や事務の方とお話する機会が多くありますが、お話を伺うに、今日、教育の現場ではかなりの負担を強いられていると感じました。

私の担当業務は直接的に教育現場に係る部署ではありませんし、学校の生徒や保護者の方とお話する機会も少なく、学校の先生や事務職員の方とお話することが殆どです。正直なところ、自分の出来る業務があまりにも少ないこともあって、自分が教育現場の力になることが出来ているのか、まだあまり実感はありません。

しかし、いずれはしっかりと学校の先生方や事務職員の方の力になり、しいては市民の方々の力となることが出来る職員になるべく、先輩方に教を請いながら、努力を重ねていきたいと思えます。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月26日(木)

担当者 学校教育課 新井 謙太

おはようございます。教育部学校教育課の新井謙太です。

今年の4月に北広島市役所に入庁し、もうすぐ半年が経とうとしています。忙しくも学びの多い、充実した毎日を過ごすことができているのは、周りの先輩方のおかげだと改めて感じています。この場をお借りして、お礼申し上げます。

さて、今日は、私がこの半年間を経て感じている課題についてお話しさせていただきます。

1つ目は、日々の業務を行うにあたって必要な知識を身に着けることです。窓口や電話での保護者の方々や学校からの質問に対して、スムーズに答えられることが少なく、先輩方に助けられる場面が多々あります。対応の仕方を見て真似るだけでなく、法令などを確認し細かい部分まで学んでいかなければいけないと感じています。

2つ目は、北広島について知らない部分が多いことです。私は今年から北広島に住み始めたのですが、自宅と市役所の周り以外はほとんど未知の土地であり、場所や建物の名前を聞いてもピンと来ないことばかりです。休日等の時間を使って各地へ足を運び、少しずつ北広島のことを知っていきたいと思います。

3つ目は、忙しい中でも余裕をもって仕事に取り組むことです。余裕がなくなってくると、仕事の優先順位を見失ったり、焦りが原因でミスしてしまうことが多いと感じています。計画的に業務を行うなど、少しでも余裕を持てるよう心がけています。

このほかにも課題は山ほどありますが、1つずつクリアしていけるよう、直向きに努力してまいります。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月27日(金)
担当者 社会教育課 南 紗恵子

おはようございます。社会教育課の南紗恵子です。4月に北広島市役所に入庁し、課の皆様をはじめ、多くの方に支えていただきながら毎日業務に取り組むことが出来ています。

社会教育課は、社会教育担当、体育担当の2つに分かれており、私は社会教育担当として、国際交流事業や成人式の開催、補助金の交付などを行っています。本日は私が仕事を行う上で心がけていることについてお話しさせていただきたいと思います。

それは、「先を見通して行動する」ということです。

社会教育課では事業の運営が多くあり、開催の何か月も前から準備を行います。その際には「先にやらなければいけないこと」「後でも間に合うこと」を見極め、優先順位を考えていく必要があります。また、社会教育課の事業の開催は土日が多く代休をとる必要がありますが、後回しにしていると次の事業の運営や自分の日々の業務に追われ、休みが取れなくなってしまうます。先輩方からは休むのも仕事のうちであり、休みの時間を使ってリフレッシュはもちろんのこと、町のことを知ってほしいとアドバイスをいただきました。

私は4年間岩見沢の大学に通っていましたが、思い返すと岩見沢という街について自信を持って「知っている」ということはできません。何も意識せずに過ごしてしまうと、年月だけが経ってしまうのだと改めて感じました。

10月以降は自分の担当する事業も本格的に動き出すため、今一度気を引き締め、先のことを見据えて余裕を持った計画を立てること、また、町のことを自ら学ぶ姿勢を大切にしたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切的な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。

放送日 令和元年9月30(月)

担当者 市民課 貝森 博樹

おはようございます。市民課の貝森です。

「気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。」

このフレーズは、毎朝スピーチで聞いており、皆さんにとっても聞きなれたものとなっているかと思います。

私はこの4月から市民課に異動となり、このフレーズの持つ意味の重要性を再認識させられています。

市民課では、戸籍・住民票、自治会・町内会、所管している施設利用に係る問い合わせ、法律相談の窓口など、市民生活にかかわる様々な対応があります。

また、広聴担当として「きたひろしま市民の声」も所管しており、回答作成等を各部各課の皆さんにお願いしており、どの課にどのような意見・問い合わせが入っているかもすべて目にするようになります。

日ごろ、市民対応する中で、内容によっては国や道が所管していて市では対応できなかったり、そもそも行政が介入できなかったりするものもありますが、そういった場合もただ「市ではできません」で終わるのではなく、なぜできないのか、どういう状況になっていて何が必要なのか、どこに行けば解決する内容なのかなど、広聴担当としてできるかぎりの対応が必要なんだと感じています。

自分にとっては、数多く受ける市民対応の一つかもしれませんが、その対応一つで、その方にとっての市全体の印象を左右するということ、また、日々の対応の積み重ねが「市民の笑顔」につながるということを意識して、丁寧な対応を心がけたいと思います。

気持ちの良い挨拶は、職場に笑顔をもたらします。

親切な市民対応は、市民に笑顔をもたらします。

職員皆さんが心にいだく大志を結集し、本日も1日元気に頑張りましょう。